

宮城県

(亶理地区)

カブリダニ導入による環境にやさしいいちご生産の推進

【1. 概要】

- ・環境にやさしい防除推進のため、施設いちご栽培で、カブリダニ類によるハダニ防除を導入
- ・普及促進のため、JA部会員を対象とした栽培管理講習会を開催した(平成27年度8回)
- ・亶理地区の約60%のいちご生産者が、防除体系にカブリダニ類を導入

【2. 実践内容】

(1) 取り組みの背景、経緯

- ・震災後に整備されたいちご団地(40.5ha)で、生産者が新たに高設養液栽培に取り組むことを契機に、環境にやさしい防除推進のため、カブリダニ類によるハダニ防除の導入を進めた(図1、2)

(2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・試験研究機関及び農薬メーカーと連携して、効果的な放飼時期の検討や天敵に影響のある農薬情報を整理した
- ・普及促進のため、JA部会員を対象とした栽培管理講習会を開催(平成27年度は8回開催)し、生産者の技術習得を図った
- ・天敵導入前後の病害虫管理の徹底を指導することで、防除効果が高まった

【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・環境にやさしい防除に対する生産者の意識の高まりがみられた
- ・適切な放飼を行うことで殺ダニ剤散布が不要になる事例もみられている
- ・亶理地区の約60%のいちご生産者が、防除体系にカブリダニ類を導入



図1. いちごの高設養液栽培

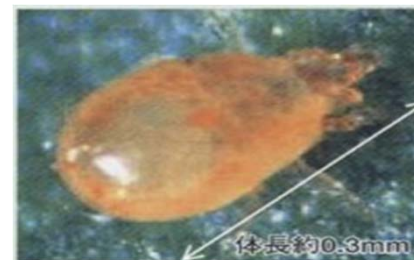


図2. 天敵に用いた
ミヤコカブリダニ(上)と
チリカブリダニ(下)

【問い合わせ先】

農林水産部農産園芸環境課
電話：022-211-2845